



校長 落合浩一

【「自分らしい生き方」の創造！～29 年度授業スタート！】

今年度は、「授業時間数の確保」を進めるため、昨年度よりも早い日程で授業を開始した。教育課程では、始業式と入学式を同日に行うなど、これまでの式典や行事を縮減することなく、本校の特色である多彩な教育活動の展開を維持しつつ、教育の質を保証しながら授業時間数をどのように確保していくかが課題となっている。来年度は、さらに授業時間数を確保するため、平塚中等教育学校で学ぶ生徒にとって「何が大切か！」を踏まえたチャレンジ策を先生方と一緒に考えていこうと思う。

さて、今年度入学した1年生の様子を見ると、緊張した面持ちであった顔から笑顔が見られるようになってきた。いよいよ6年間がスタートし、自分らしい生き方の創造が始まったのではないだろうか。

本校の校歌「わたしたちの時代（とき）」の歌詞にあるように、「この時代に生まれて 仲間とめぐりあった 話し合った 苦しんだ 泣いた そして 笑った～（中略）私の夢が 輝きだす いま」と、この6年間で仲間と共に様々な経験をして、自分らしい生き方とは？自分の夢を実現するためには？と考え、悩み、努力し、壁にぶつかりながら成長していくことを期待したい。

そこで、本校の生徒の多くが上級学校に進学を希望していることを踏まえ、「進路選択」について触れておきたい。

進路選択とは、自分のこれからの生き方を考えることであり、その生き方を実現できる場所を考える必要がある。中・高校生段階で何十年も先のことを予測することはとても難しく、生徒もこれから成長し変化していく。さらに、社会も大きく変化し、現在ある職業もなくなり、新たな職業が生まれてくるかもしれない。既存の

職業から選ぶという視点だけで進路を考える時代ではなくなってきていると言われている。日本がかつて経験した高度経済成長期では、皆が使っている参考書で勉強し、よい大学に入って、大企業に就職するといった分かりやすい成功モデルがあったが、現在ではそうした価値観は益々通用しなくなってきているとも言われている。当然、生き方も、そこに至る道も多様化する中で、一人ひとりがどのように生きていくのかを自分なりに創っていくことが求められている時代である。そのためには様々な視点から「自分を知る」こと、大学や社会といった「外の世界に触れること」、これを繰り返す中で、自分のやりたいことや、そのために何をすべきかを考えていくことが重要である。そして、「生き方」を考えると、「自分は何が好きか！」をつかんでおいて欲しい。次に「なぜ好きか！」ということを掘り下げて考えて、「ただ好き」を超えた意味や自分なりの価値を見出して欲しい。その考えの深化が進路選択につながり、将来にわたる「自分らしい生き方」を創造していくことにつながるはずだ。6年次生にとっては進路を決定する年となる。また、4年次生は、いよいよ後期課程生となって将来を具体的に考えていく時期となる。毎日の授業や行事、部活動の取り組みを大切にしながら今年もスタートしよう！

